

新興国レポート

中国経済は生産主導で回復基調継続

自動車を中心に工業生産の回復続く

- ✓ 5月の工業生産は前月比4.4%増と2ヵ月連続増加。小売売上高や固定資産投資も持ち直しの動きが続く。一方、雇用回復は遅れ気味。
- ✓ 北京市内での集団感染の発生等で新型コロナウイルスの「第2波」への警戒が高まりつつある。回復傾向にある中国経済の波乱要因となる可能性も。

(1) 生産主導で回復基調継続

- 中国国家统计局は6月15日、2020年5月の主要な経済統計を発表しました。生産を中心に経済の回復基調が続いていることが示されました。
- 5月の工業生産は前年同月比4.4%増と2ヵ月連続で増加し、4月の同3.9%増から伸び率が拡大しました。品目別の生産量では、地方政府が買替え補助金を支給する自動車と同19.0%増となり、生産全体をけん引しました。また、中央政府によるインフラ投資の推進等を受け、粗鋼やセメントも伸び率が拡大しました（図表1、2）。
- 5月の小売売上高は同2.8%減と、マイナス幅が縮小しました。自動車の販売額が同3.5%増と5ヵ月ぶりに前年同月を上回り、マイナス幅の縮小に寄与しました。一方、レストラン等飲食店の売上高は同18.9%減とマイナスが続きました（図表1、2）。
- 1～5月のマンションや工場建設等の固定資産投資は前年同期比6.3%減と、回復傾向にあるマンション販売や政府が加速するインフラ投資に支えられ、1～4月の同10.3%減から減少率が縮小しました（図表1）。

(2) 雇用回復は鈍い

- 雇用の改善は遅れ気味です。5月の新規雇用者増加数は前月比106万人増で、4月より19万人減少しました。5月の失業率も5.9%と、4月の6.0%から0.1ポイントの改善に留まりました（図表3）。

(3) 「第2波」への警戒高まる

- 北京市内の食品卸売市場で集団感染が発生したこと等を受け、新型コロナウイルスの「第2波」への警戒が高まりつつあるようです。回復傾向にある中国経済の波乱要因となる可能性もあります。

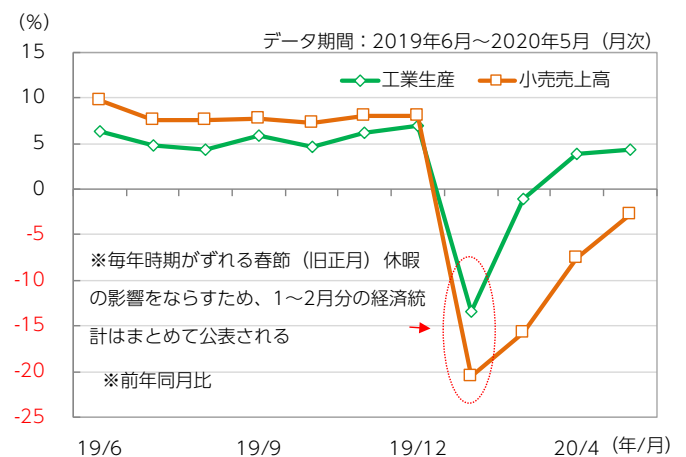
図表1：主要経済指標の伸び率

項目	2020年 4月① (%)	2020年 5月② (%)	改善幅 ②-① (ポイント)
工業生産	3.9	4.4	0.5
自動車	5.1	19.0	13.9
粗鋼	0.2	4.2	4.0
セメント	3.8	8.6	4.8
小売売上高	-7.5	-2.8	4.7
固定資産投資	-10.3	-6.3	4.0
インフラ投資	-11.8	-6.3	5.5

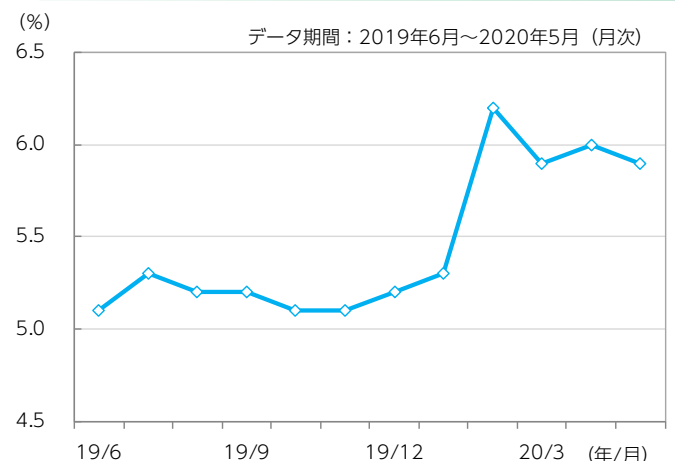
※前年同月比

※固定資産投資とインフラ投資は年初来累計、前年同期比

図表2：工業生産と小売売上高



図表3：失業率



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>